

2026年2月26日

JAF 審判委員会

「エアロダンス種目」のルール変更について

2026年4月1日以降に開催される「エアロダンス」では、エアロダンス種目採点規則2026年度版において以下の内容が変更になりました。選手の皆様が、スポーティでリズムカルなパフォーマンスに挑戦され益々この競技を楽しんでいただけるよう、変更に至った意図をご紹介します。

『競技エリアについて』

競技エリアは、従来の約7m×7m四方から、約10m×10m四方へと変更となりました。

これは、選手の皆様がそれぞれの身体的特性や能力に応じて、より自由に競技エリアを使用できるようにすることを目的としています。

必ずしも10m×10m四方すべてを使用しなければならないというのではなく、選手の体力等に応じて、最大10m×10m四方の範囲内で自由にエリアを使用することを可能としています。

審査においては、芸術点「演技構成」の評価項目に基づき、競技エリアをバランスよく使用しているかを評価のポイントとしているため、7m×7m四方の範囲内であっても、エリアを偏りなく効果的に使用できていれば、マイナス要素とはなりません。

『時間変更について』

競技時間は、1分～1分15秒程度に変更となりました。

変更は必修動作に加えてエアロビック動作を連続して行ううえでの適切な演技時間を再検討し、選手それぞれの体力や技量に応じて、初心者から上級者までが無理なく競技時間を選択できるよう配慮したものです。

審査においては、選択した競技時間の中で、音楽に合わせた連続的なエアロビック動作による表現力や、動きの完成度が評価のポイントとなります。

『衣装について』

近年、衣装における過度な工夫が見受けられ、丈の長いスカートやボリュームのあるフリル、大きな髪飾り等により、本来評価されるべきエアロビック動作の遂行度が判断しにくいケースが増加していますので、「動作の遂行度が判断しにくい服装や装飾品は控えること」としました。

<推奨されない衣装例>

